



# 大樹のこころ

## 交流活動

本校は異学年交流が盛んです。例えば6年生と1年生の交流。こうした交流によって、6年生は1年生に対する優しい心を、そして1年生は6年生への憧れを抱いていきます。情操教育において異学年交流はとても効果的なものだと思います。

昨日は、特別支援学校の子との交流がありました。居住地交流ということで、本学区に在住の支援学校の児童が、本校に遊びに来てくれました。年に1回の交流が計画されているのですが、前回の交流がとても楽しかったということで、再度来校してくれることになりました。受け入れたのが5年1組です。この日にむけて5の1では入念な準備が行われました。車椅子に乗った支援の子を子供たちはアーチを作って迎え入れます。そしてみんなでゲームを楽しみました。ゲームの内容は支援学校の子が活動できるように配慮されたものとなっていました。この交流の様子を参観していて、自分は「感動」してしまいました。5の1の子供たちの言動に「嘘」がありません。心から支援の子を歓迎し、交流会を楽しんでいました。笑顔がはじけ、温かさに満ちた明るい教室。このような素敵な子供たちを育ててくれた担任の先生に感謝の思いでいっぱいになりました。招かれた支援学校の子も満足したのではないのでしょうか。

そして今日は、大樹寺保育園の年長さんが来校してくれました。年長さんは来年度1年生として入学してきます。その年長の園児と本校の1年生とで交流がありました。この交流はコロナ禍では行われていませんでしたが、久しぶりの復活です。園児が教室にやってくると、1年生が「お兄さん」「お姉さん」の顔つきに変わります。小学校の生活の様子を紹介したり、ダンスを一緒に踊ったり、クイズやゲームをしたりする中で、園児に対する優しい対応をする1年生。「この1年間で、ずいぶん成長したなあ」と思わず感慨にふけてしまいました。

最後の交流は「中学校入学説明会」です。本日2月9日(金)に北中学校・岩津中学校で開催されました。中学校への進学は、誰もが不安に思うもの。中学校は、そんな子供たちの不安を解消しようと小学生と中学生との交流の場をもって来ていました(写真は北中学校)。学校紹介ビデオを視聴したり、一緒に先輩方とゲームをしたりする中で、6年生の子供たちも安心していったようです。

交流活動は大きなメリットがあります。これからもこうした交流活動を活発に行っていきたいと考えています。

